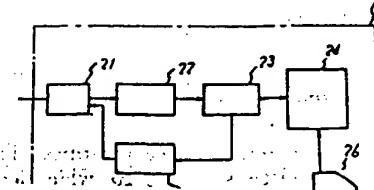
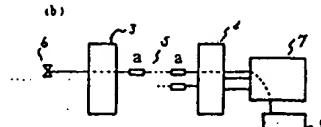


JP 355143679 A
NOV 1980

(54) CREDIT NUMBER VERIFICATION SYSTEM
 (11) 55-143679 (A) (43) 10.11.1980 (19) JP
 (21) Appl. No. 64-51063 (22) 24.4.1979
 (71) NIPPON DENKI K.K. (72) HARUO YANAGI
 (51) Int. Cl. (G06F15/30, G06F15/20)

PURPOSE: To offer users the service speedily while coping with the loss of a credit card, etc., rapidly by centralizing a verifier for credit numbers.

CONSTITUTION: Central credit verifier 1 is connected to each terminal transmitter-receiver 2 via terminal exchange station 3, central exchange station 4 and circuit 5. This verifier 1 is provided with exchange interface part 21 and a verified number received by this interface part 21 from unit 2 is sent via signal reception part 22 to verification part 23, which makes a number check. Then, this checked number is compared to numbers in memory part 24 stored in lost credit numbers and non-payment credit numbers and the result is transmitted from verification result transmission part 25 to interface part 21 to inform unit 2 of that rapidly. When this unit 2 uses terminal telephone set 6, audio transmitter 8 connected to central credit verifier 7 sends audio information on the comparison result of the number to tele-



⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報 (A)

昭55-143679

⑫ Int. Cl.³

G 06 F 15/30
15/20

識別記号

府内整理番号

7737-5B
7165-5B

⑬ 公開 昭和55年(1980)11月10日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑭ クレジット番号検証方式

東京都港区芝五丁目33番1号
本電気株式会社内

⑮ 特 願 昭54-51063

⑯ 出 願 人 日本電気株式会社

⑰ 出 願 昭54(1979)4月24日

東京都港区芝5丁目33番1号

⑱ 発明者 柳陽雄

⑲ 代理 人 弁理士 内原晋

明細書

1. 発明の名称

クレジット番号検証方式

2. 特許請求の範囲

自報経由で送られたクレジット番号の合否を検証する手段と、検証結果を返送する手段を集中して設け、サービスを受ける端末装置または端末交換局側に前記手段にアクセスする手段、被検証クレジット番号送出手段および検証の結果を受信する手段とを有することを特徴とするクレジット番号検証方式。

3. 発明の詳細な説明

本発明はクレジット番号を検証するシステムに関する。

本発明の目的は、買物あるいは通話料金等をクレジットで支払う場合、容易に該クレジット番号の合否(正しい／正しくない、不正クレジ

ット番号)を検証し、必要な顧客に対し新サービスを供給するためのクレジット番号検証方式を提供することにある。

本発明によれば回線経由で送られたクレジット番号の合否を検証する手段と、検証結果を返送する手段を集中して設け、サービスを受ける端末装置または端末交換局側に前記手段にアクセスする手段、被検証クレジット番号送出手段および検証の結果を受信する手段とを有することを特徴とするクレジット番号検証方式が得られる。

次に本発明につき図面を参照して説明する。第1図(a)～(c)は本発明による種々の実施例を示す中経方式図である。

第1図(a)はクレジット中央検証装置1と端末装置2が交換局A3とC局4および回線5を通して接続される場合を示す。また、第1図(b)は端末として電話機の場合で、クレジット中央検証装置7側からは音声送出装置8から音声で検証結果が送出される。この場合電話機6はブ

ショボタン形の必要があろう。何故なら一般局間回線では必ずしもダイヤルパルスは通過出来ないから交流信号(PB鉄による組合せ交流信号)にてend to end(エンド・ツー・エンド)で信号の送出が必要となろう。さらに第1回(c)は端末側交換局内側で端末からの情報を受け、中央へ中継し、逆に中央からの情報もA局が受信する装置9を設け、端末が電話機の場合は音声送出装置10による音声にて結果を伝達するものである。本実施例の場合には端末交換局側に装置が必要となるが、PB信号をトランクを経由して送出するなどが不要となるので信頼性は高くなる。またロータリーダイヤル電話機でも本サービスが受けられるし、端末が音声ではなく信号(直流・交流・パルス)での返送も可能となり、更にいたずら等に対する接続規制が可能となる。

第2回は、クレジット番号検証装置の一構成例を示すブロック図である。局インターフェース部21を介して被検証番号受信部において受信し

- 3 -

-ビスを供給できる効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1回(a)～(c)は本発明の実施例を示す中継方式、第2回は本発明によるクレジット中央検証装置の一構成例を示すブロック図である。

1……クレジット中央検証装置、2……端末送受信装置、3……端末側交換局、4……中央交換局、5……回線、6……端末電話機、7……クレジット中央検証装置(音声送出装置インターアク付)、8……音声送出装置、9……交換局側番号受信・送出装置、検証結果受信装置、10……交換局側音声送出装置、20……クレジット中央検証装置、21……交換局インターフェース部、22……信号受信部、23……検証部、24……メモリ部、25……検証結果送出部、26……入力部。

代理人 弁理士 内 原 音

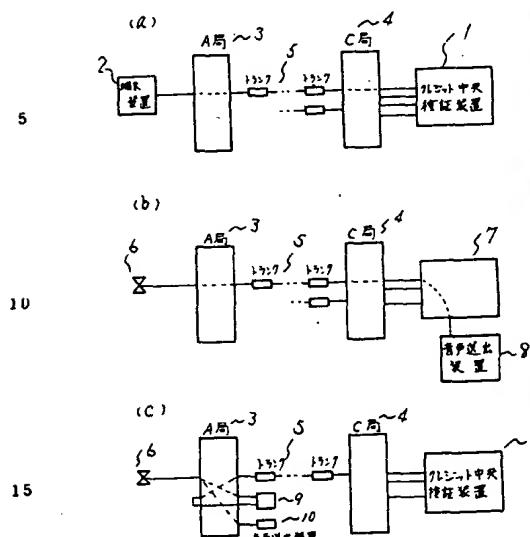
たクレジット番号は検証部23において、号チャック方法や紛失クレジット番号、不払クレジット番号等が記憶されているメモリ部24のデータと比較検証される。検証部23での検証結果は局回線信号等に検証結果送出部において変換(又は音声で送出する場合は音声に変換)し、それ局インターフェース部21を介して送出される。なお入力部26はメモリ部24の内容の加除を行なうためのタイプライタ等により構成される。

クレジット番号は各クレジット会社専有の検証(チャック)コードが付いているので、これを検証する。複数会社で共用する場合は番号の前にヘッド番号を付加すればよい。また紛失したクレジット番号や不払いクレームクレジットの番号はメモリ部に入力しておき、これとの照合を行なうことによる。

本発明は以上説明した如く、クレジット番号の検証装置を集中化し紛失等に対し迅速に対処するとともに、利用者にはスピーディにそのサ

- 4 -

第1回



5-143679(2)

(において番号ナ

1. 不払クレジ

セリ部24のア

23での検証結

23の結果、出

出部において次

音声に变换)し

して送出される。

40 内容の加除

IGより構成され

る。このように

ト会社専有の機

であるので、これ

たる場合は、号の

よい。また紛失し

レームクレジット

おき、これとの照

、クレジット番号

ICに対し迅速に対処

ビーディにそのサ

特開昭55-143679(3)

第 2 図

